

「コルペルミン」を購入する前に、このフローチャートに従って、この医薬品が使用できることをチェックしてください。
はい・いいえでお答えください（該当するチェック欄に☑を記入してください）。

(1) 以前に医師から過敏性腸症候群の診断・治療を受けたことがありますか？（いつ、どこの医療機関を受診したかを薬剤師にお伝えください。）

いいえ

診断・治療を受けたことがない方は医療機関を受診してください。



(2) 次のいずれかに当てはまりますか？

- 過敏性腸症候群の再発かどうかよくわからない（たとえば、過去に過敏性腸症候群と診断された後、本症状に関して、長期間医療機関を受診しておらず、今回の症状は、以前に過敏性腸症候群の診断・治療を受けた時と違うかどうかよくわからない）
- 就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある
- 発熱がある
- 関節痛がある
- 血の混じった粘液便、下血がある
- 繰り返すひどい下痢がある（3回/日が1週間以上続く）
- 急性の激しい下痢がある
- 排便によってよくならない腹痛がある
- 嘔吐がある
- 最近6か月以内に、予期せぬ3kg以上の体重減少がある
- 大腸がん、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎など）にかかったことがある

はい

大腸がん、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病等）等の他の疾患の可能性があるので、医療機関を受診してください。

- 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある
- 著しく胃酸が少ない状態が持続する（無酸症）
- 肝臓病、胆管閉塞、胆のう炎の治療を受けている

はい

副作用があらわれる可能性がありますので、服用しないでください。



(3) 次のいずれかに当てはまりますか？

- 医師の治療を受けている
- 妊娠している、又は妊娠している可能性がある
- 授乳中である
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある
- 50歳以上である
- 貧血がある
- 糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能亢進症の診断を受けた
- 大腸がん、炎症性腸疾患の家族がいる
- 腹痛がひどい（我慢できない程度）
- 便秘がひどい（1週間に2回以下）
- 胸やけがある

はい

慎重に服用する必要がありますので、服用する前に医師又は薬剤師にご相談ください。
（服用可能と判断された場合は、以下の「いいえ」にお進みください。）

↓ 全ていいえの場合、これまでの服用期間を確認してください（☐1ヵ月未満、☐1～2ヵ月、☐2～3ヵ月）

(1)のチェック欄に「はい」、(2)及び(3)のチェック欄にチェックがない方は、「コルペルミン」の服用が可能です。薬剤師から説明を受け、「使用者向け情報提供資料」及び「使用上の注意」をよく読んだ上でご購入してください。2週間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。症状の改善がみられても3か月を超えて続けて服用する場合は、医師に相談してください。また、本剤を服用している間は、本剤と同じ効能・効果を有する要指導・一般用医薬品、制酸剤を服用しないでください。さらに、服用前後は飲酒しないでください。

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

① 次の人は服用しないでください

- (1) 医師から過敏性腸症候群の診断・治療を受けたことがない人。
- (2) 過敏性腸症候群の再発かどうかよくわからない人（例えば、今回の症状は、以前に過敏性腸症候群の診断・治療を受けた時と違う）。
- (3) 就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある人。
- (4) 発熱がある人。
- (5) 関節痛がある人。
- (6) 粘血便（下血）がある人。
- (7) 繰り返すひどい下痢がある人。
- (8) 急性の激しい下痢がある人。
- (9) 排便によってよくならない腹痛がある人。
- (10) 嘔吐がある人。
- (11) 6カ月以内に、体重が3 kg以上、予期せず減少した人。
- (12) 次の病気にかかったことのある人。
大腸がん、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎等）
- (13) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (14) 著しく胃酸が少ない状態が持続する人（無酸症）。
- (15) 医療機関で次の治療を受けている人。
肝臓病、胆管閉塞、胆のう炎

② 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

過敏性腸症候群（IBS）の症状改善薬、制酸剤

③ 服用前後は飲酒しないでください



相談すること

① 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 50歳以上の人。
- (6) 貧血がある人。
- (7) 次の診断を受けた人。
糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能亢進症
- (8) 大腸がん、炎症性腸疾患の家族がいる人。
- (9) 腹痛、便秘がひどい人。
- (10) 胸やけがある人。

② 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胸やけ、吐き気・嘔吐、肛門部の刺激感、胃出血
その他	頭痛、脈が遅くなる、排尿時の刺激感、目のかすみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

③ 2週間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

④ 症状の改善がみられても3カ月を超えて続けて服用する場合は、医師に相談してください

【効能・効果】

過敏性腸症候群の次の諸症状の緩和：腹痛又は腹部不快感を伴い、繰り返し又は交互に現れる下痢及び便秘（以前に医師の診断・治療を受けた人に限る。）

【用法・用量】 次の1回量を食前又は食間に服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	1カプセル	3回
15歳未満	服用しないでください	

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法・用量を守って、毎日服用してください。
- (2) 食事とともに服用することはさけてください。（胸やけを起こすことがあります。）
- (3) 本剤は腸溶性のカプセルですので、かんだり、つぶしたりせずに、そのまま服用してください。（胸やけを起こすことがあります。）
- (4) カプセルの取り出し方
図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部の端を軽く指先で押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



【成分】 1日量（3カプセル）中

セイヨウハッカ油（ペパーミントオイル）561 mg
添加物として、サラシミツロウ、ラッカセイ油、軽質無水ケイ酸、メタクリル酸コポリマーS、メタクリル酸コポリマーLD、クエン酸トリエチル、モノステアリン酸グリセリン、マクロゴール、タルク、ゼラチン、青色2号、酸化チタンを含有する。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

製造販売元
 ゼリア新薬工業株式会社
〒100-0011 東京都中央区日本橋小舟町10-11
ホームページ <https://www.zeria.co.jp>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)